

「わかる!」「できる!」どの子どもも 授業に参加しやすくするためのチェックポイント

	項 目	具 体 的 な 実 践 内 容	/	/	/
1	視覚的刺激量の調整	○黒板・黒板まわり すっきりしている			
		○先生の机上・棚 すっきりしている			
		○教室内の棚・床 すっきりしている			
		○先生の表情はおだやか			
2	聴覚的刺激量の調整	○先生の声量は使い分けられている			
		○人権感覚のある先生の言葉遣い			
		○授業中の静寂が存在する			
3	クラス内の理解促進	○「わからない」「教えて」と言える雰囲気づくり			
		○柔らかい雰囲気をつくる言語環境づくり			
		○ペア・グループ学習が成立する学級経営			
4	ルールの明確化	○学習規律が存在する			
		○ルール定着のための指導が継続的になされている			
5	時間の構造化	○45(50)分の見通しが示せる指導計画を立てている			
		○45(50)分の授業の流れ(見通し)を示している			
6	焦点化	○めあては「焦点化」されている			
		○注目したくなる、考えたくなる工夫がなされている			
7	スモールステップ化	○漠然とした指示でなく具体的な指示になっている			
		○必要に応じて具体例・手本・ヒントの提示・考え方の共有等の工夫がなされている			
8	視覚化	○口頭だけに頼らない情報伝達の工夫(見える化)がなされている			
		○目で見て確認・理解ができる工夫がなされている			
9	動作化・作業化	○45(50)分間 座学にならない工夫がなされている			
		○体や感覚を使って理解を深める活動を取り入れている			
10	共有化	○子ども同士の活動が設定されている			
		○子ども同士で意見を交換する場が設定されている			
11	指示の出し方	○具体的に・短く・肯定的に・視覚的に話せている(ぐみこし)			
	関わり方	○否定的注目よりも肯定的注目を心がけている			
		○否定的関わりよりも肯定的関わりを心がけている			